

2 サツマイモの品種特性調査

背景と目的

市内農協では、そばの輪作作物の一つとしてサツマイモの導入を計画しています。しかし、当地に適した品種についての情報が少ないことから、(地独)北海道立総合研究機構発行の「さつまいも栽培マニュアル(2018年版)」(以下「栽培マニュアル」という。)にのっとり、露地で試作を行い、品種の特性を調査しました。

関係先 市内農協

試験概要

(1) 供試品種

No	品種名	系統名	切苗購入先
1	シルクスweet	従来系統	カネコ種苗(株)
2	ベニアズマ	SA-9	〃
3	べにはるか	なし	〃
4	なると金時	KK-2	〃
5	コガネセンガン	なし	渡辺農事(株)

(2) 栽培概要

- ・栽植密度：畝間 110 cm, 株間 40 cm(ベッド：幅 50cm, 高さ 20cm), 2,273 株/10a
- ・施肥量 (kg/10a)：N:P:K=5:10:15
- ・灌水管理：定植時のみジョウロで灌水し、以降は灌水なし。
- ・収穫した芋は、洗浄もキュアリングも行わず 13℃に設定した定温庫で貯蔵。

(3) 定植日・収穫日

定植日：6月11日 収穫日：10月8日(定植後120日)

試験結果

(1) 栽培環境

栽培マニュアルでは、安定した収量が見込める積算温度を 2,400℃としています。本年度の積算温度は 2,500℃でした。

(2) 調査結果

当地での栽培適性が高い品種として、‘シルクスweet’‘ベニアズマ’‘べにはるか’‘なると金時’が挙げられ、食味を求める場合は‘シルクスweet’、収量性を求める場合は‘ベニアズマ’‘なると金時’、キュアリング処理を行わずに貯蔵性を求める場合は‘べにはるか’‘なると金時’が望ましいと考えられます。

なお、‘コガネセンガン’は切苗の品質が不良だったため、切苗の活着率や収量性が低くなりました。

表1 収穫調査結果

	収量 (kg/10a)	規格別収量 (kg/10a)			糖度 (Brix%)	
		3L~2L	L~S	2S	収穫直後	貯蔵 37 日後
シルクスイート	2,310	338	1,881	91	19.8	27.9
ベニアズマ	2,557	700	1,766	91	20.4	27.9
べにはるか	1,983	338	1,529	116	20.4	35.1
なると金時	2,738	524	2,121	92	18.6	23.4
コガネセンガン	1,867	354	1,310	203	19.5	32.4

・収量：10a 当たりの芋（50g 以上の規格内の芋）の重量

・規格別収量：10a 当たりの芋の規格別株数割合

3L~2L:500g 以上 L~S:100g 以上 500g 未満 2S:50g 以上 100g 未満

表2 蒸し芋による食味調査（被験者の指数評価の平均値）

調査日	甘味		食感		軟らかさ		好み	
	5 強~1 弱		5 粘質~1 粉質		5 軟~1 硬		5 好~1 嫌	
	10/12	11/17	10/12	11/17	10/12	11/17	10/12	11/17
シルクスイート	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
ベニアズマ	2.5	2.4	2.2	2.3	3.1	2.1	2.5	2.8
べにはるか	2.9	3.5	2.7	3.2	2.9	3.0	2.6	3.4
なると金時	2.1	2.1	2.5	2.6	2.6	2.7	2.5	2.6
コガネセンガン	3.0	3.3	2.2	3.8	2.9	3.6	2.8	3.1

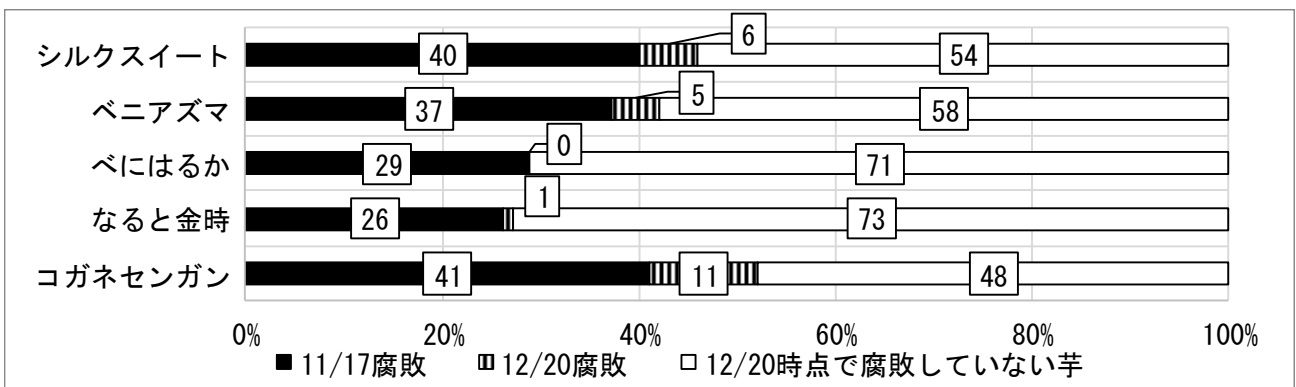


図 収穫時の収量を 100%としたときの各調査日における腐敗率（重量比，単位：％）



左からシルクスイート，ベニアズマ，べにはるか，なると金時，コガネセンガン

左：蒸し調理前，右：蒸し調理後